

MIE PREFECTURAL COLLEGE OF NURSING

MCN REPORT

Vol.24
2015.9



Contents

あいさつ	1
トピックス	2
インタビュー	3・4
大学の出来事	3~5
お知らせ&コラム	6

トピックス	医療機関との連携協力協定について	
	平成27年度 第1回公開講座	2
シリーズ	インタビュー	3・4
	オープンキャンパス	4
	夢緑祭	5



大学マスコット
キャラクター
「みかんちゃん」



三重県立看護大学
MIE PREFECTURAL COLLEGE OF NURSING

あいさつ

理事長〔学長〕あいさつ

早川 和生

三看大の更なる国際化の進展について



グラスゴー大学にて関係者と

本学は、教育研究水準の向上、国際的視野を持つ人材の育成を目的に、開学以来、国内外の教育研究機関との交流連携に積極的に努めており、タイのマヒドン大学やカリフォルニア大学等との相互交流を着実に進めてきました。特に、マヒドン大学とは、平成13年に交流協定を締結し、毎年学生を相互派遣するとともに教員の交流も実施しています。マヒドン大学は、1888年に創立された著名な国立の総合大学で、そのランキングはトップレベルを誇ります。

さらに今般、英国の大学との交流を目指すため、平成27年7月に、グラスゴー大学を訪問しました。グラスゴー大学は創立から約500年の歴史を有し、英国で最も古くからの伝統を誇る有力大学の1つです。グラスゴー大学とは、今後、交換留学協定を締

結し、早ければ、来春から交流を開始したいと考えています。

また、グラスゴー大学訪問にあわせて、三重県が実施する「知事欧州ミッションでの英国との看護分野における国際連携協定締結事業」において知事に同行し、三重県とバーミンガム大学病院、ロンドン大学関連病院それぞれとの協定締結の場に立ち会いました。今後、三重県では、この協定を基に交流を本格化していく予定と聞いています。

イギリス訪問は、多忙ながらも、日本より少し涼しい気候で快適な海外出張となりました。

是非、多くの本学の学生や卒業生及び教員の皆様が、ナイチンゲール以来、最も長い看護学の伝統を有する英国の大学や医療機関と積極的に交流していただくことを念願しています。

是非、多くの本学の学生や卒業生及び教員の皆様が、ナイチンゲール以来、最も長い看護学の伝統を有する英国の大学や医療機関と積極的に交流していただくことを念願しています。



後援会会長あいさつ

中井 繁美



本年度、後援会会長に就任致しました中井 繁美と申します。

昨年、役員（理事）を担当させていただきましたが、本年度は川出会長の後を受け、より責任のある立場となり、身の引きしめる思いで一杯です。

近年三重県立看護大学は教職員

の皆様の努力や学生の皆さんの頑張りで高い評価をいただくに至っており、後援会も微力ながら他の役員の方々と協力し、大学と緊密に連携を図りながら、学生の皆さんの勉学や学生生活の充実・向上に少しでも寄与できる様、活動してまいりたいと考えております。

本年度も引き続き、後援会活動に対し会員皆様のご理解・ご協力をお願い申し上げ、挨拶とさせていただきます。

平成 27 年度 後援会役員

役職	氏名		役職	氏名	
会 長	中井 繁美	新会長	理 事	奥村 康之	新任役員
副 会 長	米田 恭三		監 事	玉樹 麗子	
副 会 長	近藤 恭弘		監 事	南部 正臣	
理 事	川出 明伸				
理 事	高橋 英樹		顧 問	早川 和生	学長
理 事	相澤 由美		顧 問	松田 克己	事務局長
理 事	川村 元秀		事 務 局 長	三井 清輝	事務局副局長
理 事	佐野 稔		事 務 局	川島 弥	教務学生課長
理 事	大田 智佳子	新任役員	事 務 局	梶 智恵	

トピックス

医療機関との連携協力協定について

地域連携特任教授 阿部 敬子

三重県立看護大学は、学生の臨地実習の受け入れや、授業への講師派遣など、相互に連携・協力を行ってきた医療機関と、より密接かつ効果的な連携・協力関係を構築することで、臨床能力に優れた質の高い看護職者の教育・育成等を目的とし、地域の7施設と連携協力協定を結んでいます。

共通内容として、①大学の学部生及び大学院生の教育研究に関すること、②職員の育成に関すること、③人事交流に関すること、④保有備品、資料等の貸出等に関すること、⑤その他大学及び病院が決定した事項、を掲げ取り組んでいます。

私の担当施設は、三重県立こころの医療センターです。平成25年2月22日に協定を締結しました。現在までの取り組みとして、こころの医療センターは、臨床実習の受け入れ、卒業・修士論文への協力、学部生への講義依頼等で、大学は、図書館の利用に関する優遇措置を始め看護研究指導や研修の実施、派遣研修（平成26年度約半年間）の受け入れをしています。また共同研究の推進、シンポジウムの開催など相互に協力しながら進めています。



右：地域連携特任教授 阿部 敬子
左：三重県立こころの医療センター
犬飼 さゆり 看護部長

平成27年度 第1回公開講座

平成27年7月11日（土）に平成27年度地域交流センター第1回公開講座を開催しました。当日は、548名という大勢の方にご参加いただき、また、テレビ会議システムを使用して三重県立総合医療センターにも講演の様子を配信しました。

「『歩き方を変える』だけで10歳若返る！」と題して、信州大学大学院教授 能勢博先生に体力向上、血圧・血糖値・中性脂肪の低下などの健康効果をもたらす歩き方－「インターバル速歩」－について、長年の実証実験に基づきお話しいただきました。とりわけ、「インターバル速歩」を続けることで、介護予防や医療費の削減という結果にもつながるという内容に、参加者の方は熱心に聴講されていました。



参加者からは「今日から早速インターバル速歩を実行したい」、「大変役立った。能勢先生のお話は面白かった」、「分かりやすい講義で、とても楽しかった」などのお声をいただき、盛況のうちに終了しました。



2

MCN REPORT

インタビュー・大学の出来事

教員インタビュー

玉田 章 学生部長にお伺いしました。

Q. 現在の研究テーマは「手術後の無気肺予防」ということですが、そもそも無気肺とは、どういう状態ですか？

A. ヒトの気道内には自浄作用があり、分泌物を痰として外に出す働きがあります。しかし、手術した直後は全身麻酔や筋弛緩剤の影響で、肺活量や一回の換気量が通常より低下します。また、開腹や開胸手術の場合であれば、気道内の分泌物を咳によって出そうとしても手術創の痛みを感じますので排出しにくくなります。これらのことが原因で肺に分泌物が溜まってしまふのが無気肺です。無気肺は手術後の合併症の中でも頻度が高いといわれています。



Q. では、予防はどのように行うのでしょうか。

A. 予防には、器具を使って行う呼吸訓練や痰の咯出を促すなど様々な方法があります。その中で私が最初に注目したのは器具を使用する訓練方法でした。ところがこの器具にはいくつかの種類があり、またその器具を使った訓練の肺活量や一回換気量などの呼吸機能への効果や訓練回数、訓練日数については研究者によってまちまちな見解が述べられていました。そこで、ある呼吸訓練器具を使って学生を対象に訓練回数と訓練期間を変えて、その効果の違いを比較しました。そうすると、1日に行う訓練回数はあまり多くなくても呼吸機能改善の効果が期待できましたが、訓練には10日間以上の期間が必要だとわかりました。

その後、実際に整形外科で全身麻酔の手術を受けた患者さんに協力をいただいて、同様に呼吸訓練器具を使用した研究を行いました。それによって全身麻酔によって一時的に低下した呼吸機能は、最大吸気を維持するような訓練、要するにしっかりと息を吸う訓練を行えばより短期間で回復することが見えてきました。

Q. 今後はどのように研究をされますか？

A. 最近では手術を受ける方は、手術前日に入院するようになりました。術前に行う呼吸訓練も術後の無気肺などの呼吸器合併症予防には効果があるとされていますが、術後にいかに早く術前の状態に回復させるかが医師と看護師の共通の課題です。しかし、これまでの呼吸訓練器具を使った方法、痰咯出や深呼吸の促しではこれ以上の効果は期待できません。これまでの方法とは別の要素を付加した新たな術後無気肺予防について検討していかなければなりません。現在、この別の要素としてアロマセラピーに着目しています。このテーマについては日本学術振興会の挑戦的萌芽研究の助成金を受けて鋭意進行中です。

マヒドン大学短期研修生

平成13年に締結されたタイ国マヒドン大学との間の交流協定に基づき、毎年マヒドン大学生及び本学学生を相互の大学で受け入れ、短期研修を行っています。

本年度も、平成27年6月8日から6月20日までの13日間、マヒドン大学から3名の学生が来学し、



学内での講義や県内8か所の施設見学により、日本の看護を学び、体験しました。また、歓迎会や京都への文化視察、マヒドン大学生によるタイの保健医療についてのプレゼンテーションなどを通じて、学生間の親交も深まり、本学の学生や教職員にとっても、異文化を感じる良い機会となりました。

1年生インタビュー

初めての定期テストを前に、緊張している2人に聞きました！

Q. みかんだいを選んだ理由は？

伊藤さん 静かなところで勉強できると思ったからです。少人数だから落ち着いて勉強に集中できると思いました。また、勉強に困った時や自習をしたいときに、みかんだいの附属図書館にはたくさん本が揃っているから、便利だろうと思いました。

今井さん みかんだいを選んだ理由は「全員が看護師と保健師の国家試験受験資格を取得できる」というところが一番のポイントでした。両方を学ぶことで、いろいろな視点から看護を学ぶことができると思ったからです。



伊藤 璃奈さん

Q. 特に印象に残っている講義は？

今井さん 解剖学の実習が一番印象的でした。教科書で学ぶのと、実際に自分の目で見えて触って学ぶ人体の構造は、全然違うなと思ったからです。自分の中で理解が深まって、もっとしっかり勉強しようと思いました。

伊藤さん 私も解剖学の実習はとても印象に残っています。あと、統計学の授業が楽しいです。それまで、お金の計算しかしたことがなかった電卓で、二乗の計算ができたり、メモリー機能があったり、知らないことばかりでおどろきが多いです。



今井 紗英さん

Q. これから頑張っていきたいことは？

今井さん ベッドメイキングとか看護の技術系の授業が増えてきたので、たくさん練習して身に付けるのと同時に、座学の勉強もしっかりして、両立していきます！

伊藤さん 課題に追われないように計画性をもって取り組めるようにします！テスト範囲が広く、いろいろな科目があるので、実技も座学も、テスト前に焦らなくてすむように頑張りたいです。

…みかんだいオープンキャンパス2015…

平成27年7月25日（土）、みかんだいオープンキャンパスを開催しました。当日は、猛暑にも関わらず、約550名の方にお越しいただきました。

「日本一受けたい看護の授業！」では、“赤ちゃんのふしぎ”と題し、会場の皆さんにも心音を聞くなどの体験をしていただきながら、模擬授業が行われました。また、心肺蘇生法の体験、手洗い体験、赤ちゃんの沐浴体験では、教員や学生から説明を受け、参加者一人ひとりが体験を楽しんでいました。



個別相談会では、本学の教職員や在学生に、入試や学生生活について相談する姿がみられました。また今年度は、実習に協力いただいている県内の主な病院や三重県・三重県病院事業庁の職員の方にお越しいただき、修学資金の相談のほか、現役の看護職者の方からのお話に、多くの参加者が熱心に耳を傾けていました。



参加者からは、「いろいろな体験ができて、進路決定の役に立った」、「先輩方から、たくさん話を聞くことができてよかった」、「みかんだいに入学したい気持ちが高まった」などの声が聞かれました。



大学の出来事

第18回夢緑祭 (平成27年6月13日(土))

平成27年6月13日(土)に第18回夢緑祭を開催しました。梅雨の時期で天気も心配されましたが、前日、当日ともに晴天に恵まれました！前日からの準備、当日の準備ともに、夢緑祭実行委員、機材関係、学校関係者の方々の協力のおかげで無事にスタートできました。看護大学ならではの防災コーナーやユニセフコーナー、昨年度よりも2店舗増やし賑わいをみせた模擬店、ちびっこ達をメインとし子どもたちであふれかえった学生ホールでのイベント、暑



い中来てくださったお客様の休憩所となった食堂、そして最高のパフォーマンスを見せてくださったステージ演出、全てが最高のものとなり素晴らしい学園祭が開催できました！私たち学祭委員もここでしか体験できないようなことばかりで非常に勉強になり、さらなる絆が生まれ最高の1日となりました。協力してくださった皆さん、支援してくださった皆さんに感謝の気持ちでいっぱいです！

(夢緑祭実行委員長 佐野 誠)



ゆびた祭り (平成27年7月1日(水))

毎年恒例のゆびた祭りを今年は平成27年7月1日(水)に開催しました。昨年度は台風の影響でお客さんが少なく、心配していましたが、今年度は天候に恵まれて多くの方々に来ていただき、大盛況でした。

ゆびた祭りをより楽しんでいただけるように、子ども向けのイベントとして、フーセンヨーヨー釣り、1円玉落とし、ストラックアウト、わなげ、折り紙、バルーン、ボーリングなどを企画しました。



夏祭り屋台をイメージした食べ物を提供し、祭りの雰囲気を楽しんでいただくために企画したフードでは、唐揚げ、焼きそば、かき氷、ポテト、たこ焼き、ソフトクリーム、ジュース、わらび餅を取扱いました。

1年生から4年生まで協力して、参加いただいた皆さんに和やかな雰囲気味わっていただくことができ、また自分たちも楽しむことができました。

(ゆびた祭り担当 稲葉 さやか)



ようこそ先輩・就職説明会

平成27年5月15日(金)に、「ようこそ先輩・就職説明会」を本学で開催しました。「ようこそ先輩」では、看護師・保健師・助産師として活躍されている4名と、本学大学院で学んでいる1名の卒業生をお招きし、看護職としての経験や国家試験対策の内容についてお話しいただきました。4年生58名、3年生21名が参加し、予定時間を超える程の多くの質問がありました。参加後のアンケートでは97.9%の学生が「良かった」と回答しており、「卒業生なので、学生生活の苦労や楽しみをご存知で、親しみを持って聞くことができた」等、多くの高い評価が得られました。



「就職説明会」では、三重県内の30の医療機関等の看護部長さんや新人教育担当看護師、その医療機関に就職した卒業生らにお越しいただきました。73名の学生が参加し、興味のある施設のブースを訪ね、施設概要や日々の業務内容についてパンフレットや映像により説明を受けました。「病院を選ぶ視野が広まった。具体的なことを聞くことができた」等の感想が聞かれました。

お知らせ&コラム

平成28年度入試について

平成28年度入試スケジュールは下記の通りです。

各入試区分の詳細につきましては、本学ホームページに掲載しております「平成28年度入学者選抜要項」をご確認ください。

平成28年度入試から、出願の方法を全ての入試区分においてインターネット出願のみとします。

【特別入試】

区 分	募集人員	出願期間	試験日
地域推薦入試B	5名程度	H27年11月1日(日)～H27年11月3日(火・祝)	H27年11月7日(土)
地域推薦入試A	30名 (地域推薦入試Bの5名程度含む)	H27年11月1日(日)～H27年11月11日(水)	H27年11月21日(土)
帰国子女入試・社会人入試	若干名		
地域推薦入試C	5名	H28年1月25日(月)～H28年1月28日(木)	H28年2月6日(土)

【一般入試】

区 分	募集人員	出願期間	試験日
前期日程	50名	H28年1月25日(月)～H28年2月3日(水)	H28年2月25日(木)
後期日程	15名		H28年3月12日(土)

電子カルテの講義が始まりました

今年も電子カルテの講義が医療情報学(担当：齋藤真教授)において本格的に開始されました。高等教育機関においてソフトウェアを用いての電子カルテの授業は、ほとんど実施されていないのが現状です。

一方、県内400床以上の病院における電子カルテの導入率は約80%で、全国的にも高い水準にあります。電子カルテの教育は、学習用ソフトウェアがないことや教育内容が確立されていないことなどが問題点でした。本学では、2年前から独自にカリキュラムを構築し、教育にあたってきました。特に今年度はソフトウェアの操作のみならず、看護系の教員と連携して看護過程の内容にも触れながら演習を進め、より専門性を高めました。

さらに今年度は、地域交流センター事業として電子カルテの教育を受けていない本学卒業生や一般の看護職の方々にも研修会を実施し、受講者から高い評価を得ています。

健康コラム



老年看護学
小松 美砂 教授

「健康寿命とフレイル」

高齢期になると体の衰えを感じ、毎日の生活や活動に支障をきたす方が少しずつ増えてきます。このような体の衰えを「フレイル」といいます。フレイルとは、「介護の危険が高いが、まだ健康を維持できている状態」を指します。自立して生活できる期間を「健康寿命」といいますが、フレイルの段階で適切な対応をすることによって、健康寿命を延ばすことができるといわれています。

フレイルの目安は、①力が弱くなった(握力の低下)、②活動量の低下(不活発)、③歩く速さが遅くなった、④疲労感、⑤体重減少の5つです。これらのうち3つ以上に該当すると、フレイルと考えられます。

高齢期の健康管理で大切なことは、散歩や体操といった運動を定期的に行い、十分なタンパク質とバランスの良い食事を摂り、規則正しい活動的な生活をすることです。健康で長生きするために、自分の体の衰えをチェックし、生活習慣を見直してみませんか。



同窓会よりお知らせ

第18回「夢緑祭」に参加しました。

平成26年度はスタッフの都合がつかず参加できませんでしたが、平成27年度は恒例となっております「卒業生と話そう！なんでも相談コーナー」を開設しました。例年に比べて来場者は少なめで、相談コーナーへの訪問者ゼロで終了してしまわないか心配しましたが、7名の在学生（1年生）が相談コーナーに立ち寄り、「実習について」「試験について」「サークルについて」など、三看大でのキャンパスライフについていろいろと相談していかれました。また、三看大同窓会をより多くの方にとって頂くため、来場者や夢緑祭実行委員へ同窓会グッズ（ボールペンと油とり紙）を配布しました。今後も学内イベント等を通じて、母校・在校生との繋がりを大切にしていきたいと思っております。



第2回公開講座

「認知症－我が街で暮らしていくために－」のご案内

開催日時 平成27年10月18日(日) 14時～16時

場所 三重県立看護大学

プログラム

(1) 講演「認知症 備えあれば憂いなし－忍法『認知症対策』をひもとく－」

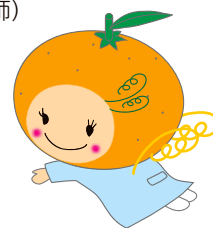
講師 森藤 豊さん (社会医療法人厚生会 木沢記念病院 精神腫瘍科医長
伊賀市立上野総合市民病院 緩和ケア非常勤医師
一般財団法人信貴山病院グループ 上野病院 物忘れ外来非常勤医師
特定医療法人清仁会 のぞみの丘ホスピタル 精神科非常勤医師)

(2) 事例報告「つながれば希望が見えてくる」

講師 下野 和子さん (公益社団法人認知症の人と家族の会 三重県支部代表)

(3) ディスカッション

コーディネーター 小松 美砂 (本学教授)



参加は無料です。参加を希望される方は、三重県立看護大学企画広報課まで、電話、FAX、E-mailのいずれかでお申し込みください。

※定員(400名)に達した場合、お申し込みを締め切らせていただく場合がございます。

※当日の参加受付は、定員に余裕がある場合に行います。

＜お問い合わせ・お申し込み先＞

公立大学法人三重県立看護大学 企画広報課

TEL：059-233-5669 (企画広報課直通)

FAX：059-233-5666

E-mail：kikaku@mcn.ac.jp



本学キャラクター「みかんちゃん」

三重県立看護大学の略「三看大(みかんだい)」の「みかん」に学生たちが持つ「優しさ」をイメージした大学キャラクターです。平成21年の法人化を機に学内からの公募で選ばれ活躍しています。



学章の由来

看護のイメージを高めてほしいという願いと、未来に向かって成長していく若者の姿を大小2つの翼とナースの「N」をモチーフにして表現しました。



「大学基準協会」の定める「大学基準」に「適合」と認定されています。認定マークとは…法で定められた認証評価機関である大学基準協会の大学評価を受けて認定された大学に交付されたものであり、その大学が常に自己点検・評価に取り組んでいること、そして社会に対して大学の質を保証していることを示すシンボルです。



MIE
PREFECTURAL
COLLEGE
OF NURSING

公立大学法人

三重県立看護大学

〒514-0116

三重県津市夢が丘1丁目1番地1

TEL 059-233-5600(代)

FAX 059-233-5666

http://www.mcn.ac.jp/

